

打楽器メンテナンス

VOL. 2 ベースドラム

前回のスネアドラムに続いて、今回はコンサートベースドラムの調整について、奏法をまじえてお話します。

ベースドラム(BD)のチューニングについてはなかなか難しく、吹奏楽部にあるBDのロッド(図A)を回すのは、皆さんにとっては勇気が要ることかもしれません。でも、大丈夫ですよ。取り返しのつかない事になんかなりませんから、是非ベストチューニングにチャレンジしてください！

BDのヘッドには本皮のもの、プラスチックのものがあります。コーティング処理をして本皮のニュアンスを出すモデルもありますが材質はプラスチックです。ここでは、まずプラスチックヘッドを基本に説明します。



図B

表側(打面)と同じ張り具合よりも、少しゆるめがよいと思います。あまり差があると、強く叩いた時に楽器が鳴りにくくなるので注意しましょう。

裏側、表側(打面)ともロッド(図A)を全体に力が加わらなくなるまでゆるめてください。べろんべろんになっても(図B)心配せずどんどんゆるめましょう。ここで打面の中心をマレットで叩くと、もちろんべろんと言う音になりますよね。ここから少しずつロッド(図A)をしめて、少し強く叩いてもべろんと鳴らなくなるまで張ってみましょう。表側(打面)も裏側も同程度でよいです。

基本チューニングはこれでOKです。セクションの皆さんで聴き合って、「もう少し張った方が・・・?」「ちょっと張りすぎでは・・・?」と意見を出し合い、納得できる位置を見つけ出してください。裏側のヘッドは、ゆるめに張ると余韻が長くなり、きつめに張ると余韻が短くなりますが、



図A



図D

演奏の時、チューニングと同じくらい大切なのは、マレットとの相性です。

図Cは36インチのBDですが、マレットはこの程度の大きさで十分です。BDは中心を叩くことで一番低く、まとまった音を創れます。打点の基本は中心付近をおすすめします。これはトレモロの時も同様で、中心でトレモロをするのは少々難しいですが(図D)是非チャレンジしてください。図Eの位置ですと、深みのあるトレモロはなかなか出ません。



図C



図E

ヘッドの交換時期についてはそれほど神経質にならなくても大丈夫ですが、何年も経っているものは弾力が無くなってしまふので交換が必要です。

ラディック ベースドラム用ヘッド スムースホワイト

28 インチ用	LW4228	¥6,300
32 インチ用	LW4232	¥7,400
36 インチ用	LW4236	¥8,500

ラディック ベースドラム用マレット 図C上から

L-309	スモール 2本1組	¥9,100
L-310	ミディアム	¥6,900
L-308	ラージ	¥7,000

BDの良い音というのはなかなか難しく、また音質やバランス等バンドへの役割としても、とても大切なパートです。サイズもさまざま、マレットも多種にわたり、良い音を見つけ出すのは容易ではないのですが、皆さんの感性を信じて是非良い音創りにチャレンジしてみてください。(文: 畑中文規)

■畑中文規 略歴

武蔵野音楽大学卒業。打楽器全般を小林美隆、塚田靖の両氏に師事。在学中より東京都内オーケストラにエキストラとして出演。卒業と同時に山形交響楽団に入団。D・ミョーの打楽器協奏曲を同交響楽団と共演。1981年新星日本交響楽団に入団。オーケストラ在籍中、国内各オーケストラにもエキストラとして出演。また、打楽器アンサンブル活動も積極的に取り組む。バイエルン国立歌劇場日本公演にエキストラとして出演。

1996年より同交響楽団首席打楽器奏者。1998年野中貿易株式会社入社。2017年野中貿易株式会社を退職。現在は後進の指導にあたる。



ラディック ベースドラム用スタンド LE-787 ¥139,000

スムーズな回転と自在な固定で、マーチングなどフィールドでの激しい動きにも充分対応する堅実な構造です。

写真: LECB62XXL1 ¥375,000

※価格は2015年2月3日現在の税抜金額となります。